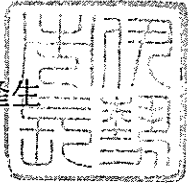


20 監理 第/138号
平成 20 年/0月20日

国土交通省道路局長 様

伊勢市長 森下隆生



今後の道路行政についての意見・提案の提出について（回答）

平成 20 年 9 月 19 日付け国道企第 37 号で依頼のありました標記について、別紙
のとおり回答致します。

伊勢市役所都市整備部監理課
企画調整係 中東・中西・大井
TEL 0596-21-5582
FAX 0596-21-5585
E-mail:kanri@city.ise.mie.jp
URL:<http://www.city.ise.mie.jp>

伊勢志摩圏域においては、全国的にみても伊勢・鳥羽・志摩の一大観光地域であることから、伊勢志摩を一地域とした観光振興を図るため、観光客が周遊しやすい交通ネットワークの整備が必要です。伊勢市においては、参拝客数を現在の 700 万人から平成 25 年の式年遷宮に向けて 1,000 万人を目指しており、それを達成するための観光交通対策や、道路ネットワークの充実が喫緊の課題です。さらに観光産業が多い当市においては、良好な沿道景観の形成が重要なファクターになってくると考えています。また平成 17 年の 4 市町村による合併により、市域が拡大し、地域間の連携・交流活動を促進するとともに、市民が安全安心に移動できる道路や鉄道・バスの維持・強化が必要です。

一方、現在三重県及び伊勢市で策定中の将来の都市像を示す都市マスタープランにおいて、集約型都市構造の実現を目標として掲げ、機能を集約する拠点を設定することとしており、それを有機的に結ぶ交通ネットワークが必要であるとともに、自動車交通を公共交通や自転車交通に転換させるなどの TDM 施策を中心とした交通量の抑制を図る必要があると考えます。

何れにしましても、これらの様々な交通課題に対応していくインフラ整備や TDM 施策を実現し、維持・継続していくためには、その財源を確保することが必要不可欠であると考えています。

○現 状

<道路ネットワーク>

- ①市域内各拠点へのアクセス、伊勢自動車道、国道23号といった広域幹線道路と一体となった周遊性を確保する道路の整備が遅れている。
- ②鉄道により分断されている国道23号と主要地方道鳥羽松阪線、伊勢南島線を繋ぐ南北連絡ルートの整備が遅れている。また、市街地外の各既存集落と環状ルートを結ぶ放射状ルートの整備が遅れている。
- ③渋滞が著しい道路の交通分散を図るルートの整備が遅れている。

<観光交通>

- ①伊勢志摩地域への来訪者は8割以上が県外で、約8割が自家用車である。アンケート調査では地域内移動など交通環境に対する不満が大きく、問題点として「渋滞に巻き込まれた」「駐車場がない、駐車場になかなか入れなかった、標識・看板などの情報がわかりにくい」等があげられている。特に、伊勢神宮内宮付近の交通渋滞が著しい。
- ②平成25年神宮式年遷宮に向けて、神宮参拝客数1,000万人を目標としており、さらなる交通渋滞の悪化の恐れがある。

<安全安心・生活環境>

- ①緊急輸送道路の整備など防災・減災対策が遅れている。
- ②鉄道踏切箇所などボトルネックポイントが多く存在する。
- ③歩道のない道路や自転車で走行しにくい道路が多い。
- ④段差の解消などバリアフリー化が遅れている。

<良好な景観形成>

- ①伊勢市では良好な景観形成の推進を都市づくりの基本姿勢に掲げ景観計画づくりをすすめている。歴史あるお木曳きの道など景観形成上重要な軸を景観重要公共施設として位置づける予定である。

<その他>

- ①都市計画道路の約40%が未整備である。

○課 題

<道路ネットワーク>

- ①伊勢都市圏幹線道路ネットワークの充実
〔環状ルート・放射状ルート・交通分散ルートの整備〕
 - ・都市計画道路の整備（秋葉山高向線、下卯起宮川駅野依橋線、久保朝久田線、前田小木線、日赤神田線、仮称御薮小俣線）
 - ・主要地方道の整備（伊勢多気線バイパス、伊勢南島線、伊勢磯部線）
- ②広域幹線道路ネットワークの充実
 - ・伊勢志摩連絡道の整備

<観光交通>

- ①内宮周辺交通渋滞対策の推進（ハード・ソフト）
 - ・内宮周辺道路の整備（県道館町通線）
 - ・広域幹線道路の整備（伊勢志摩連絡道）
 - ・内宮周辺駐車施設の整備
 - ・国道23号の整備
 - 宇治浦田駐車場導入レーン整備（中村交差点付近から左折レーン設置）
 - 公共交通専用レーンの整備
 - ・パークアンドライドの充実
- ②観光周遊ルートの確立（ハード・ソフト）
 - ・外宮⇒内宮⇒二見浦ルート
 - ・自転車周遊ルートの設定
- ③誘導案内
 - ・誘導案内サインの整備
 - ・交通情報システムの整備

<安全安心・生活環境>

- ①防災・減災対策の推進（緊急輸送道路の整備・橋梁の耐震化等）
- ②バリアフリー化・ユニバーサルデザイン化の推進
- ③交通安全対策の推進
- ④安心安全な歩道・自転車道の整備

<良好な景観形成>

- ①景観法の規定による景観重要公共施設の整備
- ②伊勢志摩風景街道の整備（国道42号、パールロード、260号）

<その他>

- ①都市計画道路の見直しと整備

②ー② 地域の目指すべき将来像

I 将来都市像

1 新しい出会いをつくりだす交流都市

世界的に認知された「お伊勢さんのまち」であることを背景に、地域や文化・民族の枠を越えたまちとまち、人と人の出会いの舞台を提供し、新しい出会いをつくりだす「交流都市」づくりを進める。

2 伊勢志摩地域を牽引する中核都市

伊勢志摩地域に広がる生活圏の総合的な発展をめざすために、周辺市町とのネットワークを進め、お互いの都市機能の役割を明確にしながら、中心都市としての伊勢志摩地域を牽引する「中核都市」づくりを進める。

3 住む者を魅きつけ安心を約束する共生都市

住み続けるための基本条件である安心感や快適性を大切にしながら、伊勢独特の歴史・文化、自然風土を守り伝え、成熟社会に対応した都市を創り出すために、人と人、人と自然が共に暮らす「共生都市」づくりを進める。

II 都市づくりの基本方針（道路関係分）

伊勢志摩地域の中心都市として、活力ある都市空間の形成、周辺地域との連携を強化する軸の形成を図る。

交流都市、中核都市を視野に入れて、広域的な交通ネットワークの整備を促進し、市内及び周辺市町を対象とした域内ネットワークの強化を図るとともに、市街地の主要な幹線道路を中心として、優れた都市空間を備えた都市軸を位置づけ、分かりやすい骨格を有する都市構造を形成する。

III 分野別都市づくり（道路・交通体系）

<方針>

- 道路や鉄道、海上交通などからなる交通ネットワークの形成、身近な公共交通の充実、交通の円滑化などを進め、潤いある都市空間の形成を図る。
- 全国的にも有数の観光地として知られる伊勢市では、生活者の視点に立った道路網の整備とあわせて、観光シーズンに集中する来訪者に対応する交通体系を確立する。

<施策>

- 1 交通ネットワークの形成（高規格道路の整備、広域幹線道路の整備、生活道路の整備、交通結節点の整備）
- 2 公共交通の充実
- 3 交通対策の推進（交通の円滑化）

今後の道路行政についての意見・提案

様式 ④

③道路施策の重点事項（代表事例、期待する効果や評価等）

三重県伊勢市

○重点事項	○代表事例	○期待する効果や評価等	○その他
道路ネットワークの充実	・南北幹線道路（【都】秋葉山高向線）の整備 ・伊勢志摩連絡道路（第二伊勢道路）の整備	・国道 23 号と市街地の交通円滑化 ・周辺道路の混雑緩和 ・伊勢志摩地域の周遊性の向上	
観光交通による渋滞対策の推進	・国道 23 号の整備（内宮周辺の駐車場への付加車線の整備等） ・県道館町通線（交通渋滞分散ルート）の整備 ・P&R の推進 ・自転車周遊ルートの設定	・宇治浦田交通広場へ駐車渋滞の緩和 ・宇治地区の交通の分散 ・交通量の抑制 ・訪問者と地域との交流の活性化	
安全・安心な生活環境	・緊急輸送道路の整備・橋梁の耐震化	・災害時の緊急輸送道路の確保	
良好な景観形成	・景観重要公共施設の指定（御幸道路、御木本道路など全 12 路線）による景観形成（無電柱化や自然風景の保全） ・伊勢志摩風景街道の整備	・道路環境の景観形成による移動快適性の向上。 ・観光ルートとしての魅力向上	

交通政策による内宮周辺の交通渋滞解消・緩和

■実施している渋滞対策

○混雑状況に応じて

- ・年末年始
⇒ パーク&バスライド・交通誘導・臨時駐車場開設
- ・初参り時期・GWなど ⇒ 交通誘導・臨時駐車場開設
- ・その他混雑期 ⇒ 交通誘導

■優先すべき交通課題

- ・地域住民、来訪者ともに不満が大きい交通状況2・3における渋滞の解消・緩和。

■現状(H19実績)

駐車場状況(※)

交通状況1 (正月等)	内宮参拝者:8万人超 該当日数:4日/年		
	必要駐車台数(ピーク時) 6,174台		
	※設定参拝者数:10万人		
	駐車場台数	P&BR利用	不足
	3,020台	2,230台	924台

交通状況2 (1月休日・GW等)	内宮参拝者:3~8万人 該当日数:28日/年		
	必要駐車台数(ピーク時) 4,874台		
	※設定参拝者数:5万人		
	駐車場台数	P&BR利用	不足
	2,940台	0台	1,934台

交通状況3 (連休等)	内宮参拝者:2~3万人 該当日数:36日/年		
	必要駐車台数(ピーク時) 2,924台		
	※設定参拝者数:3万人		
	駐車場台数	P&BR利用	不足
	1,990台	0台	934台

周辺道路の状況

【h19.1.3】内宮参拝者数:121,270人	
■最大渋滞長	
・伊勢二見鳥羽ライン ⇒ 2.1km	
・伊勢自動車道 ⇒ 1.6km	
・国道23号 ⇒ 4.7km	
・御幸道路 ⇒ 2.3km	
【h19.1.4】内宮参拝者数:84,770人	
■最大渋滞長	
・伊勢自動車道 ⇒ 15.0km	

【h19.5.4】内宮参拝者数:48,606人	
■最大渋滞長	
・伊勢自動車道 ⇒ 5.0km	
・国道23号 ⇒ 2.0km	
・御木本道路 ⇒ 1.8km	
・御幸道路 ⇒ (未調査)	

【h19.8.13】内宮参拝者数:20,853人	
■最大渋滞長	
・国道23号 ⇒ 0.5km	
・御木本道路 ⇒ 1.2km	
・御幸道路 ⇒ (未調査)	
【h19.8.14】内宮参拝者数:27,768人	
■最大渋滞長	
・伊勢自動車道 ⇒ 2.3km	

交通状況

交通状況1	
・P&BR効果で渋滞が大幅に緩和。(時期的にみて許容範囲レベル)	
・P&BRを利用すれば渋滞回避。	
・来訪者、地域住民にも受け入れられ定着。	
※P&BR実施期間終了後は渋滞が延伸。(帰り車の集中による渋滞も発生)	

交通状況2	
・臨時駐車場の開設や交通誘導の強化を図っているが、渋滞解消には至らない。	
・来訪者が年始ほど渋滞を想定していない分、不満が大きい。	

交通状況3	
・混雑が予想されないような休日においても渋滞が発生。	
・来訪者が渋滞を想定していない分、不満が大きい。	
・地域住民にとっても慢性的な渋滞は負担が大きい。	

※駐車需要は、各交通状況毎に設定した内宮参拝者数を基にして、駐車場利用実績等から推計。

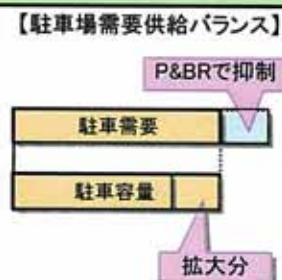
■現象からみえる渋滞の主な原因

- 駐車場待ちから始まる渋滞
⇒ 駐車場不足
※発生頻度が高い。
- 目的地に近い駐車場への集中による渋滞
⇒ 誘導・情報の不足
- 交差点を起点とする渋滞
⇒ 誘導不足、道路の処理能力不足



■主な渋滞対策

- 【ソフト施策】
- 交通量の抑制
・パーク&ライドなどTDM施策の拡充
・公共交通の利用促進
- 【ハード施策】
- 交通容量の拡大
・駐車機能の向上
・周辺道路網の整備



【ソフト施策】

- ①パーク&バスライドの推進
(「交通状況2」におけるパーク&バスライドの実施など)
- ②交通誘導の充実(誘導員・看板の増強、情報発信)
- ③公共交通の利便性向上

【施策実施課題】

- ①②…交通対策費の確保(現状130百万円 ⇒ 180百万円)
- ③…各公共交通機関の連携と2次交通の充実など

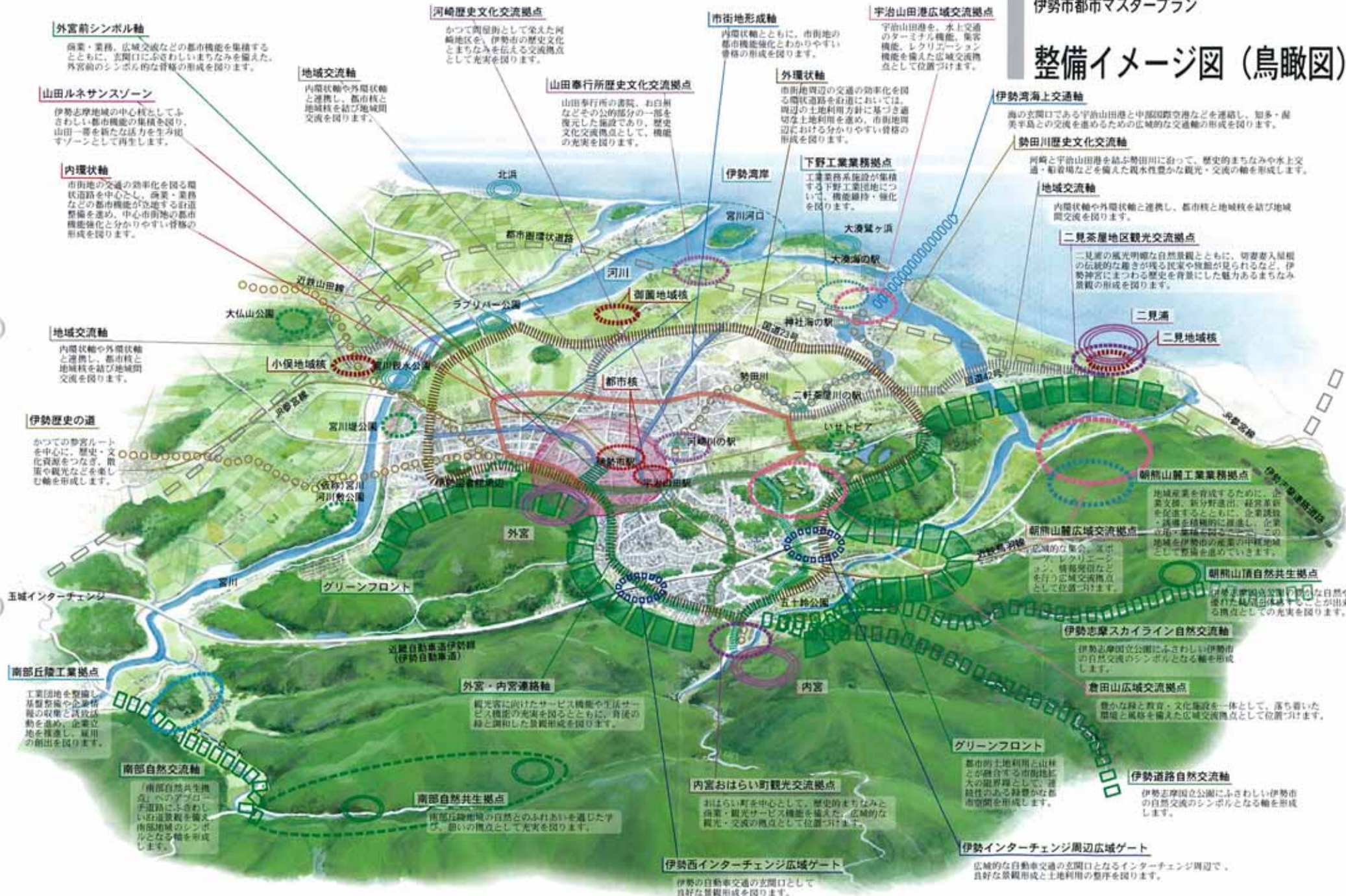
【ハード施策】

- ①駐車場整備
- ②帰り車の集中交通に対応する道路網の整備

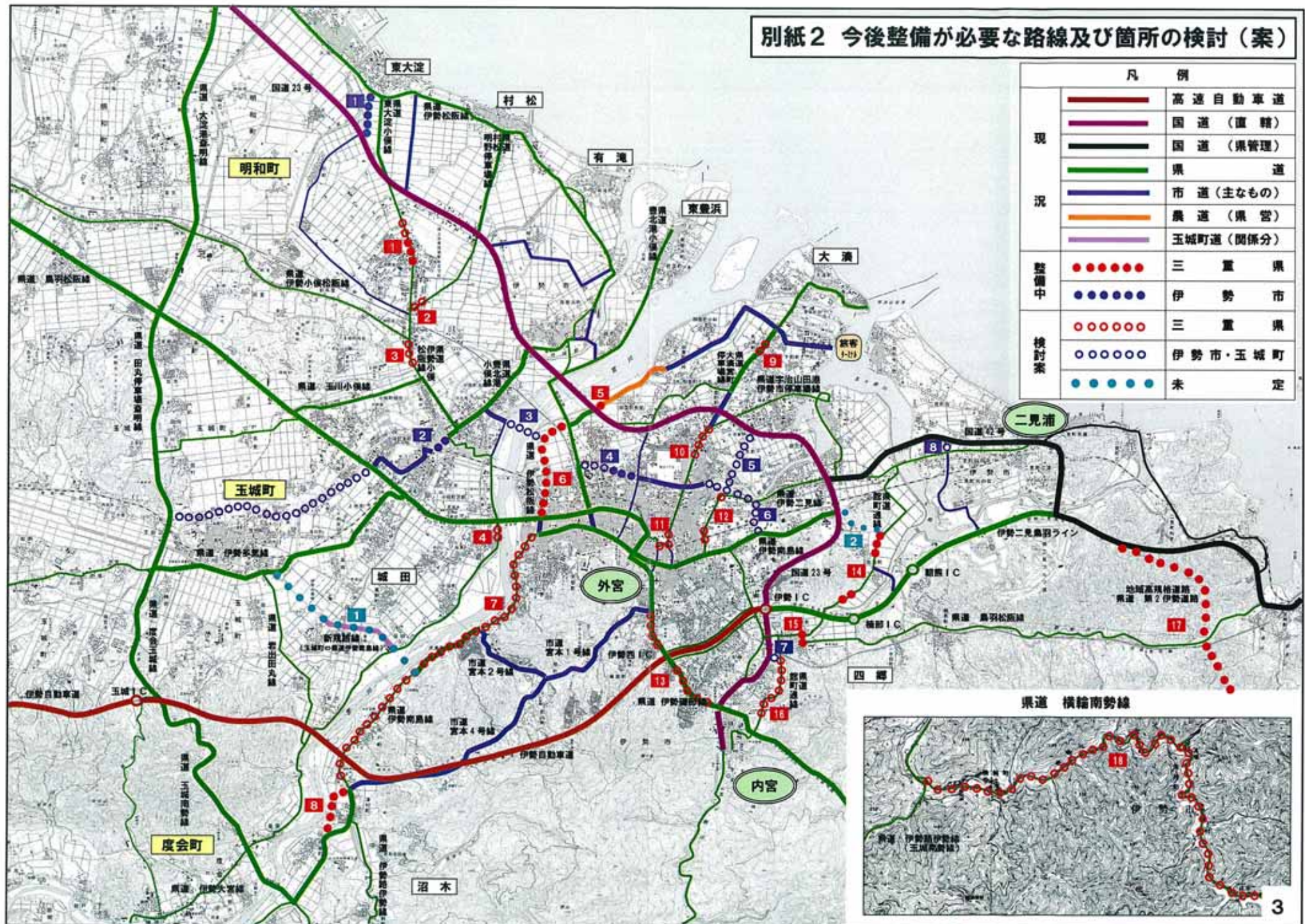
【施策実施課題】

- ①…駐車場の整備・維持管理費の確保
- ②…用地及び事業費の確保

整備イメージ図（鳥瞰図）



別紙2 今後整備が必要な路線及び箇所の検討（案）



別紙1 環状ルート、放射状ルート、交通分散ルートの検討(案)

